

2023年10月16日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社  
代 表 者 名 代表取締役 武内 博文  
(コード番号：4579)  
問 合 せ 先 取締役 須藤 正樹  
(TEL. 052-446-6100)

## 胃食道逆流症治療薬tegoprazanのペルーにおける製品発売に関するお知らせ

このたび、当社のサブライセンス先であるLaboratorios Carnot（本社：メキシコ・メキシコシティ、以下「Carnot社」）が、当社がHK inno.N Corporation（本社：韓国・オソン、以下「HKイノエン社」）を通じてライセンスした胃食道逆流症治療薬tegoprazan（以下「tegoprazan」）につきまして、ペルーにおいて製品販売を開始いたしましたのでお知らせいたします。

Tegoprazanは、当社が創出したカリウムイオン競合型アシッドブロッカー（Potassium Competitive Acid Blocker：P-CAB）と呼ばれる新しい作用機序の胃酸分泌抑制剤です。P-CABは、胃食道逆流症治療の第一選択薬であるプロトンポンプ阻害剤（PPI）とは異なるメカニズムで、PPIよりも速やかに、かつ、持続的に胃酸分泌を抑制するという特長を持つ新世代の治療薬です。

当社は、HKイノエン社との間で、日本を除く全世界の開発・製造・販売に関する再実施許諾権（サブライセンス権）付き独占的ライセンス契約を締結しており、HKイノエン社および同社からライセンスを受けた世界各国のサブライセンス先企業によってtegoprazanに関する事業活動が進められております。2019年に世界で初めて販売が開始された韓国（製造販売会社：HKイノエン社；韓国販売名「K-CAB®」）におきましては、2022年の韓国国内売上（院外処方実績）が1,321億ウォン（約132億円／1韓国ウォン=0.10円）、本年も1月から9月までの累積売上が1,140億ウォン（約114億円／1韓国ウォン=0.10円、前年同期比19%増）に達するなど、順調に販売を伸ばしております。

ペルーにつきましては、2019年、HKイノエン社とCarnot社の間でペルーを含む中南米17カ国を対象としたサブライセンス契約が締結され、以後、Carnot社が販売に向けた取り組みを進めておりました。本年7月、Carnot社はペルー当局からびらん性胃食道逆流症、非びらん性胃食道逆流症、胃潰瘍、およびヘリコバクター・ピロリ除菌補助療法の4つを適応症とする販売承認を取得しました。その後、発売に向けた準備が進められておりましたが、10月12日、Carnot社は製品名「Ki-CAB®」として製品販売を開始しました。10月12日はクリストファー・コロンブスが新大陸アメリカに到達した日として、ペルーでも記念日とされております。Carnot社によれば、本製品が中南米地域における革新的かつ先駆的な製品として大きな一歩を踏み出すことを祝して同日を発売日としたとのことでした。

中南米地域では、これに先立つ本年5月、Carnot社がメキシコでの製品販売を開始しております。また、Carnot社のほか、Eurofarma Laboratórios S. A. A.（本社：ブラジル・サンパウロ）が、ブラジルを対象地域とした権利をHKイノエン社を通じて取得しております。今回のペルーでの販売開始により、tegoprazanが販売されている国は、韓国、中国、モンゴル、フィリピン、メキシコ、インドネシア、シンガポールおよびペルーの8カ国となり、このほか、29カ国において、臨床開発・承認審査・発売準備に関する取り組みが現

在進められております。

当社は、HKイノエン社とのライセンス契約に基づき、HKイノエン社がサブライセンス先から得る収益の一定割合を受け取る権利を保有しております。本件により当社が受け取る一時金はありませんが、当社は、tegoprazanの販売国拡大が中長期的に当社の事業収益および企業価値の向上に寄与するものと考えております。なお、本件による2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の通期連結業績への影響は軽微です。

当社は今後も引き続き、HKイノエン社との連携をより強固にし、開発支援並びにサブライセンス契約支援を継続して実施し、胃酸関連疾患治療の選択肢を広げることで、患者さまのQOLの向上に一層貢献できるよう努めてまいります。

以 上

<ご参考>

HK イノエン社ウェブサイト（韓国語）：[https://www.inno-n.com/pr/news/view/1/906?sch\\_text=](https://www.inno-n.com/pr/news/view/1/906?sch_text=)